

「企業の森」かわら版 No.3

SUMMER 2021





企業の森の「いま」

3～8... 2021年 夏・企業の森の様子



下刈りを終えた「企業の森」

9～11... 「企業の森」に住む植物



地面に這いつくばって「企業の森」
を撮影しました【夏バージョン】



花粉の少ない森づくり運動 News & Information

12 ... 「枝打ち」をご紹介します





企業の森の「いま」



2021年 夏・企業の森の様子

下刈りを終えた「企業の森」

夏真っ盛り。暑い日が続いています。山の上は、街と比べると確実に涼しいはずですが、それでもやはり暑い、暑すぎます。

6月中旬から7月中旬まで約1ヶ月間降り続いた梅雨の長雨で「企業の森」には、たっぷりと水が注がれました。

夏本番を迎えたこの季節は、雑草木も成長してしまい、植栽した苗木に悪影響を及ぼします。

背丈の低い苗木は、雑草に覆われてしまい、成長に必要な太陽光を遮られてしまうので、枯れてしまうこともあります。

苗木が元気よく、さらに成長するためには、雑草を取り除く「**下刈り**」作業が必要です。

企業の森では、植栽後7年間は下刈りを行っています。植えたばかりの苗木を立派な木に育てるための第一歩として、おひさまの陽がたくさん届くように下刈りをし、大事に育てています。

その様子をお届けします。



雑草に埋もれてしまったスギの苗木

「多摩プロジェクト ネットトヨタ多摩 プリウスPHVの森」

— 青梅市 — 植栽から5年目



【表紙の写真】



三週間かけて広大な敷地の下刈りを行いました。



「下刈り」を行っている動画は、こちらをご覧ください。

<https://youtu.be/6y25Tu4ri6I>

「日本事務器・あきる野引田 企業の森」

—あきる野市— 植栽から7年目



令和3年6月12日（土曜日）、社員の皆さまによる
下刈り体験イベントを実施しました。

（作業指導：東京都森林組合）



天候に恵まれた当日、社員の皆さまには心地良い汗を流していただき、
雑草を綺麗に刈り取ることができました。皆さまお疲れさまでした。

「読売の森」 - 青梅市 - 植栽から4年目

下刈りを行ったことで、さらに苗木の成長が見込まれます。



森の中の様子です。
とても綺麗に整備されました。

「企業の森・あくなき創造の森」

—あきる野市— 植栽から3年目



苗木の一本一本が遠目からでもわかるほど、雑草を丁寧に下刈りしました。



「企業の森・きらぼしの森」

—八王子市— 植栽から3年目



下刈り後、苗木たちが、太陽光をしっかりと浴びることができるようになりました。



Before

After



下刈り前は、苗木がどこにあるのかわかりませんでした。ところが、下刈りを終え、苗木たちがはっきり見えるようになり、輝いてみえます。

「企業の森」に住む植物



 地面に這いつくばって「企業の森」
を撮影しました【夏バージョン】

前号のかわら版No.2・SPRING2021《地面に這いつくばって「企業の森」を撮影しました。》では、春に咲いていた植物をご紹介しました。今回も引き続き、梅雨時期から夏にかけて各企業の森で咲いている植物をご紹介します。

この暑さの中、「企業の森」で元気いっぱい咲いている花たちをどうぞご覧ください。



オカトラノオ

日当たりと水はけの良い丘陵地に咲きます。
名前の由来は、長く伸びた花序をトラのシッポに例えたもの。

企業の森・きらぼしの森
—八王子市—



アカツメクサ

日当たりの良い場所に咲く「アカツメクサ」。
牧草や家畜飼料として広く栽培されています。
土を肥やす効果があります。

企業の森・いなげや
—日の出町—



ヤマユリ



大きさはユリの中でも最大級で「百合の女王」と呼ばれています。水はけと風通しの良い場所に育ちます。花の香りが強く、夜に活動する「蛾（が）」を匂いで呼び寄せて受粉させます。

エコロじいの森
—青梅市—

オカタツナミソウ



初夏に丘陵地の木陰などに咲くシソの仲間。とても鮮やかな紫色に目を奪われます。

企業の森・東栄住宅
—青梅市—



ネジバナ

日当たりが良く、多少の湿気のある環境を好みます。小さな花をらせん状に咲かせ、とても華やかです。

サントリー天然水の森 とうきょう秋川
—あきる野市—



トレニア

暑い夏に花を咲かせます。
少し湿っている肥えた土を好みます。
花の色は、この他にもピンク、白、
黄色などがあります。

読売の森
—青梅市—

ツユクサ

日当たりがよく、湿り気
のある場所を好んで自生
します。
朝咲いた花が昼しぼむこ
とが、朝露を連想させる
ことから「露草」と名付
けられたそうです。

多摩プロジェクト
ネットヨタ多摩 プリウスPHVの森
—青梅市—

ヤブラン

日陰・日向、湿潤・乾燥いずれにも
強く、幅広い環境に適応します。
見つけたヤブランは、夏らしくセミ
の脱け殻付きでした。

あくなき創造の森
—あきる野市—



花粉の少ない森づくり運動

News & Information



「枝打ち」をご紹介します

「枝打ち」作業中



前号のかわら版No.2・SPRING2021では、「20年間にわたる森づくり」の中で、植栽してから20年目に「枝打ち」を行うことをご紹介します。

「枝打ち」は、節（ふし）が少なく、上下の太さが揃った木材をつくることを目的に、余分な枝や枯れた枝を伐り落とす作業です。これにより木の商品価値を高めます。

また、病虫害の発生を防いだり、林内に光を入れ、下層に草や低木の生育を促すなどの効果もあります。

枝打ちは一般的に秋～冬にかけて行います。写真の木は、3～5mくらいの高さにある余分な枝を伐り落としました。高所で刃物を扱うため慎重に作業を行いました。

「枝打ち」を終えた木は、左写真のように余分な枝が無くなり、すっきりとした印象になります。



左の木を拡大

左が「枝打ち」を終えた木
右がまだ行っていない木

枝打ちを終えた木

次号はAUTUMN 2021を発行します。